

仏向貝塚・仏向遺跡

(横浜市保土ヶ谷区No.39・84 遺跡)

調査期間

20100104～20100930

所在地

横浜市保土ヶ谷区
仏向町

時代

縄文
弥生
古墳
中・近世



作成日:20100215

概要

本遺跡の発掘調査は独立行政法人都市再生機構神奈川地域支社による仏向町団地建て替えに伴うもので、平成22年9月30日で調査は終了しました。平成23年1月から出土品整理を行っています。

本遺跡は帷子川右岸の台地上にあります。発見された遺構は縄文時代、弥生～古墳時代、平安時代、近世と長期にわたり、住居跡、溝、貝塚などがあります。

縄文時代の遺構として竪穴住居跡や集石、貝塚などがあり、縄文時代早期から後期中頃の土器や石器が出土しています。最終的に竪穴住居跡7軒、集石3基、土坑32基、焼土址6基、貝塚3カ所が発見されました。

弥生～古墳時代の竪穴住居跡は17軒が確認され、H21年度調査分を含め30軒ほどとなります。北側のやや離れた調査区で方形周溝墓と思われる溝4条も発見されました。

また、あらたに平安時代と思われる竪穴住居跡1軒も発見され、近世以降の遺構として竪穴状遺構も見つかっています。

これらの成果については出土品整理作業の間でまとめていきたいと考えています。



▲2号住居跡(弥生)



▲29号住居跡(縄文)



▲29号住居跡土偶出土状況(縄文)